

全壊・焼失棟数 : 市町村別 (津波ケース①、⑥、⑦、⑨の推計結果の最大値)

(棟)

市町村	揺れ	液状化	浸水・津波	急傾斜地崩壊等	火災	合計	試算に用いた建物棟数
名古屋市	約 34,000	約 8,900	約 600	約 50	約 24,000	約 67,000	501,302
豊橋市	約 34,000	約 400	約 20	約 20	約 13,000	約 47,000	133,174
岡崎市	約 8,100	約 1,000	*	約 60	約 7,000	約 16,000	129,315
一宮市	約 5,000	約 4,500	*	*	約 4,800	約 14,000	157,713
瀬戸市	約 60	約 10	*	約 20	約 10	約 100	30,174
半田市	約 11,000	約 90	*	約 10	約 5,100	約 16,000	37,853
春日井市	約 600	約 300	*	*	約 1,000	約 1,900	89,494
豊川市	約 14,000	約 200	約 10	約 20	約 5,000	約 19,000	81,231
津島市	約 2,000	約 500	*	*	約 1,400	約 3,800	22,433
碧南市	約 8,700	約 100	約 20	*	約 5,400	約 14,000	28,249
刈谷市	約 5,200	約 80	*	*	約 3,700	約 9,000	43,277
豊田市	約 3,000	約 200	*	約 60	約 2,100	約 5,400	127,377
安城市	約 9,400	約 100	*	*	約 4,100	約 14,000	60,159
西尾市	約 22,000	約 900	約 100	約 20	約 5,900	約 29,000	75,798
蒲郡市	約 3,100	約 300	約 30	約 10	約 1,900	約 5,400	33,629
犬山市	*	約 20	*	*	*	約 20	28,912
常滑市	約 6,000	約 100	約 200	約 30	約 3,000	約 9,300	23,648
江南市	約 200	約 10	*	*	約 20	約 200	32,781
小牧市	約 200	約 30	*	*	約 200	約 400	49,594
稲沢市	約 3,300	約 2,700	*	*	約 2,300	約 8,300	50,179
新城市	約 3,000	約 10	*	約 40	約 30	約 3,100	26,099
東海市	約 4,000	約 100	約 100	約 10	約 2,500	約 6,800	31,163
大府市	約 2,200	約 70	*	*	約 800	約 3,000	26,249
知多市	約 4,500	約 40	約 10	約 10	約 2,000	約 6,500	28,657
知立市	約 2,300	約 30	*	*	約 1,700	約 4,000	17,942
尾張旭市	約 200	約 10	*	*	約 70	約 200	23,316
高浜市	約 2,300	約 30	*	*	約 2,200	約 4,500	14,848
岩倉市	約 600	約 40	*	*	約 700	約 1,300	12,763
豊明市	約 900	約 40	*	*	約 600	約 1,500	20,690
日進市	約 80	約 60	*	*	約 90	約 200	23,381
田原市	約 8,000	約 70	約 600	約 20	約 1,600	約 10,000	30,010
愛西市	約 3,200	約 800	*	*	約 900	約 5,000	27,900
清須市	約 800	約 500	*	*	約 1,500	約 2,800	17,594
北名古屋市	約 1,300	約 400	*	*	約 2,200	約 3,900	26,304
弥富市	約 3,100	約 500	*	*	約 300	約 3,900	16,872
みよし市	約 300	約 20	*	*	約 80	約 400	18,064
あま市	約 2,800	約 1,100	*	*	約 1,700	約 5,600	33,932

市町村	揺れ	液状化	浸水・津波	急傾斜地崩壊等	火災	合計	試算に用いた建物棟数
長久手市	約 40	約 10	*	*	約 20	約 80	12,644
東郷町	約 300	約 10	*	*	約 90	約 400	13,189
豊山町	約 200	約 10	*	*	約 300	約 500	5,497
大口町	約 20	*	*	*	*	約 20	8,251
扶桑町	約 10	約 10	*	*	*	約 10	12,414
大治町	約 900	約 400	*	*	約 400	約 1,600	8,995
蟹江町	約 1,900	約 200	*	*	約 700	約 2,800	12,624
飛島村	約 700	約 50	*	*	約 10	約 800	2,783
阿久比町	約 2,200	約 10	*	約 10	約 600	約 2,800	9,797
東浦町	約 2,200	約 30	*	*	約 2,300	約 4,500	15,263
南知多町	約 7,300	約 30	約 800	約 50	約 1,100	約 9,000	12,935
美浜町	約 5,100	約 100	約 50	約 10	約 1,000	約 6,300	11,486
武豊町	約 4,700	約 100	*	*	約 1,300	約 6,100	15,609
幸田町	約 600	約 20	*	約 10	約 100	約 700	14,350
設楽町	約 80	*	*	約 10	*	約 100	5,421
東栄町	約 300	*	*	約 10	*	約 300	3,571
豊根村	約 10	*	*	約 10	*	約 20	1,077
合計	約 236,000	約 26,000	約 2,300	約 500	約 116,000	約 380,000	2,297,982

\* : 被害わずか

計算条件 : 冬夕、風速 5m/s

「試算に用いた建物棟数」: 本県の被害予測において平成 24 年 3 月に各市町村に提供依頼して収集した課税台帳データ等 (非課税である公共施設等を含む)

※ 下の①~④にしたがって端数処理を行ったため、合計が各項目の和に一致しない場合がある。

① 5未満 → 「\*」、 ② 5以上 100未満 → 「一の位を四捨五入」、 ③ 100以上 1万未満 → 「十の位を四捨五入」、

④ 1万以上 → 「百の位を四捨五入」

※ それぞれ津波 4 ケースのうちの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町村毎または想定項目の合計と一致するものではない。

### 試算の条件等

○ 今回の試算は、国の被害想定手法 (平成 24 年 8 月 29 日公表) に基づいて、市町村別の建物被害 (全壊・焼失棟数)、人的被害 (死者数) を計算し、国の結果と比較して本県で整備した基礎データの信頼性の確認を行うとともに、市町村ごとの防災・減災対策の検討に資するための市町村別の建物被害及び人的被害の内訳を示すことを目的に行った。

○ この試算は、最終的に本県が行う被害想定が、国の推計結果と整合が図られるよう、まずは、国と同一の条件 (震度分布、液状化危険度、浸水想定域) に基づき、本県独自の基礎データを加味して行った。

○ 今回の試算では、国が公表した南海トラフ巨大地震と同じ震源モデルの内、愛知県に対して最も影響が大きいケース※について、建物被害及び人的被害を試算した。

※ 地震動ケース (マグニチュード 9.0): 国の地震動ケース (4 ケース) の内、陸側ケース

津波ケース (マグニチュード 9.1): 国の津波ケース①~⑪の内、津波ケース①、⑥、⑦、⑨

死者数：市町村別（津波ケース①、⑥、⑦、⑨の推計結果の最大値、早期避難者率低の場合）  
（人）

	建物倒壊等		浸水・津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	試算に用いた人口
		（うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物）		（うち自力脱出困難）	（うち逃げ遅れ）					
名古屋市	約2,100	約100	約2,300	約1,200	約1,100	約10	約200	*	約4,600	2,263,894
豊橋市	約2,100	約200	約200	約100	約10	*	約500	*	約2,800	376,665
岡崎市	約500	約30	*	*	*	約10	約20	*	約500	372,357
一宮市	約300	約20	*	*	*	*	約10	*	約300	378,566
瀬戸市	*	*	*	*	*	*	*	*	約10	132,224
半田市	約700	約50	約40	約30	約10	*	約200	*	約1,000	118,828
春日井市	約40	約10	*	*	*	*	*	*	約40	305,569
豊川市	約900	約50	約10	約10	*	*	約100	*	約1,000	181,928
津島市	約100	約10	*	*	*	*	約10	*	約100	65,258
碧南市	約500	約40	約300	約200	約20	*	約300	*	約1,100	72,018
刈谷市	約300	約20	約10	約10	*	*	約40	*	約400	145,781
豊田市	約200	約10	*	*	*	約10	*	*	約200	421,487
安城市	約600	約30	*	*	*	*	約60	*	約700	178,691
西尾市	約1,400	約90	約100	約60	約60	*	約300	*	約1,800	165,298
蒲郡市	約200	約10	約100	約10	約90	*	約10	*	約300	82,249
犬山市	*	*	*	*	*	*	*	*	*	75,198
常滑市	約400	約20	約600	約200	約500	*	約100	*	約1,100	54,858
江南市	約10	*	*	*	*	*	*	*	約10	99,730
小牧市	約10	*	*	*	*	*	*	*	約10	147,132
稲沢市	約200	約10	*	*	*	*	約10	*	約200	136,442
新城市	約200	約10	*	*	*	*	*	*	約200	49,864
東海市	約200	約20	約60	約40	約20	*	約30	*	約300	107,690
大府市	約100	約10	*	*	*	*	*	*	約100	85,249
知多市	約300	約20	約10	*	*	*	約30	*	約300	84,768
知立市	約100	約10	*	*	*	*	約20	*	約200	68,398
尾鷲市	約10	*	*	*	*	*	*	*	約10	81,140
高浜市	約100	約10	約20	約10	約10	*	約30	*	約200	44,027
岩倉市	約40	*	*	*	*	*	*	*	約40	47,340
豊明市	約60	*	*	*	*	*	*	*	約60	69,745
日進市	*	*	*	*	*	*	*	*	*	84,237
田原市	約500	約30	約900	約200	約700	*	約60	*	約1,400	64,119
愛西市	約200	約10	*	*	*	*	*	*	約200	64,978
清洲市	約50	*	*	*	*	*	*	*	約50	65,757
北名古屋市	約80	約10	*	*	*	*	*	*	約90	81,571

	建物倒壊等		浸水・津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	試算に用いた人口
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち逃げ遅れ)					
弥富市	約200	約10	*	*	*	*	*	*	約200	43,272
みよし市	約20	*	*	*	*	*	*	*	約20	60,098
あま市	約200	約10	*	*	*	*	約10	*	約200	86,714
長久手市	*	*	*	*	*	*	*	*	*	52,022
東郷町	約20	*	*	*	*	*	*	*	約20	41,851
豊山町	約10	*	*	*	*	*	*	*	約10	14,405
大口町	*	*	*	*	*	*	*	*	*	22,446
扶桑町	*	*	*	*	*	*	*	*	*	33,558
大治町	約60	*	*	*	*	*	*	*	約60	29,891
蟹江町	約100	約10	*	*	*	*	*	*	約100	36,688
飛島村	約40	*	*	*	*	*	*	*	約40	4,525
阿久比町	約100	約10	*	*	*	*	約20	*	約200	25,466
東静町	約100	約10	約10	約10	*	*	約40	*	約200	49,800
南知多町	約500	約20	約1,700	約500	約1,300	*	約200	*	約2,300	20,549
美浜町	約300	約20	約200	約100	約100	*	約100	*	約600	25,178
武豊町	約300	約20	約50	約40	約20	*	約50	*	約400	42,408
幸田町	約40	*	*	*	*	*	*	*	約40	37,930
設楽町	約10	*	*	*	*	*	*	*	約10	5,769
東栄町	約20	*	*	*	*	*	*	*	約20	3,757
豊根村	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1,336
合計	約15,000	約1,000	約6,000	約2,500	約3,500	約50	約2,400	*	約23,000	7,410,719

\*：被害わずか 計算条件：冬深夜、風速5m/s、早期避難率低  
「試算に用いた人口」：平成22年国勢調査による人口

- ※ 下の①～④にしたがって端数処理を行ったため、合計が各項目の和に一致しない場合がある。  
①5未満→「\*」、②5以上100未満 → 「一の位を四捨五入」、③100以上1万未満 → 「十の位を四捨五入」、  
④1万以上 → 「百の位を四捨五入」
- ※ それぞれ津波4ケースのうちの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町村毎または想定項目の合計と一致するものではない。

**試算の条件等**

- 今回の試算は、国の被害想定手法（平成24年8月29日公表）に基づいて、市町村別の建物被害（全壊・焼失棟数）、人的被害（死者数）を計算し、国の結果と比較して本県で整備した基礎データの信頼性の確認を行うとともに、市町村ごとの防災・減災対策の検討に資するための市町村別の建物被害及び人的被害の内訳を示すことを目的に行った。
- この試算は、最終的に本県が行う被害想定が、国の推計結果と整合が図られるよう、まずは、国と同一の条件（震度分布、液化化危険度、浸水想定域）に基づき、本県独自の基礎データを加味して行った。
- 今回の試算では、国が公表した南海トラフ巨大地震と同じ震源モデルの内、愛知県に対して最も影響が大きいケース※について、建物被害及び人的被害を試算した。  
※ 地震動ケース（マグニチュード9.0）：国の地震動ケース（4ケース）の内、陸側ケース  
津波ケース（マグニチュード9.1）：国の津波ケース①～⑪の内、津波ケース①、⑥、⑦、⑨